

通信講座

校正 編集 記事 文章

校正コース

校正フレックスコース

編集コース

雑誌編集入門コース

雑誌記事入門コース

文章コース



編集・校正の技能が必要な時代

仕事の場でも生活の場でも、文章・イラスト・写真をメディアにのせることが容易になり、その機会も増えています。だれもが編集や校正をする可能性があるともいえます。

編集は、いままでにないものを新しく生み出す仕事です。たとえ同じ内容でも読み手が異なれば、新たに作り出さなくてはなりません。そしてその内容を、想定される読み手に向けて、読みやすく、見やすく、よくまとまったものとして伝える必要があります。

本や雑誌は、テキストや写真などがあって、それを決まったフォーマットに流し込めば、出来上がるのではなく、企画としての見きわめがあり、原稿の点検や整理があり、1冊ごとの設計があり、校正を経ることによって完成します。

こうした技能を学ぶことは、出版をめざす人、出版の世界で働く人にとっても、仕事や生活の場でそれを生かそうと考える人にとっても、それぞれの編集段階で何をしてはならないか、その基礎を覚えることであり、実際に応用するためのよりどころを得ることにもなります。



④ 校正コース

⑤ 校正フレックスコース

⑥ 編集コース

⑦ 雑誌編集入門コース

⑧ 雑誌記事入門コース

⑨ 文章コース

② 編集・校正の技能が必要な時代

③ 出版の世界で働くために—通信講座の概要

⑩ 受講生からのメッセージ

⑪ 校正技能検定—就職・転職に活かせる資格

⑫ 就職と求人状況—「就職相談室」が強気にサポート

⑭ 通信講座申込方法

体験 校正1日教室のご案内
学校説明会と入学相談のご案内

⑮ 共通入学申込書

出版の世界で働くために

通信講座では、本や雑誌をつくるための技能を、通学講座とおなじように学習できます。校正コース、校正フレックスコース、編集コースのいずれかのコースを修了すると校正技能検定試験〈中級〉の受験資格を得ることができます。

修了後は本校に寄せられる数多い求人を利用して就職活動を行うことができます。

1 出版の仕事に対応した専門コース

書籍や雑誌は、企画—執筆—原稿編集(原稿整理)—版面設計(製作・デザイン)—校正というプロセスを経てつくり出されます。本校の通信講座にはすべてのプロセス・職種に対応した学習コースがあります。

2 初心者にもわかりやすい教材とテキスト

通学講座の教育の経験と実績から生まれたテキスト・実践的な教材を用いて、基本から応用まで段階的な学習が可能です。初めての方でも実務に必要な技能を習得することができます。

3 実習中心に丁寧な添削指導

テキストを読み、理解を確認する課題を行い、実習を重ねることで技能を身につけます。提出された課題には、講師が添削を行い、疑問には丁寧に为您解答します。一対一の個人指導で、学習の進度に合ったきめこまやかな指導を受けられます。また、日頃の学習で生じた疑問点の解決の場として、また受講生相互の交流の場として、面接講義であるスクーリング(自由参加)を実施しています。

4 就職に活用できる編集技能資格

校正コース、校正フレックスコースを修了された方は「校正技能検定〈初級〉」が認定され、「校正技能検定〈中級〉」の受験資格が得られます。編集コースを修了された方は、「校正技能検定〈中級〉」の受験資格が得られます。試験の合格者は就職に際して、自分の実力を明確に示すことにより、これらの資格を有利に活用することができます。

校正技能検定〈初級〉認定

校正技能検定〈中級〉受験資格

5 豊富な求人ですべてを確実に

編集技能を身につけたスクール修了生に向けた求人が、出版社や編集プロダクション・関連企業などから年間を通して寄せられます。「就職相談室」では、在学中の就職相談、修了後の求人社の紹介などで、就職活動をサポートしていきます。就職活動にあたっては個別の相談を受けることもできます。*就職相談室の登録資格取得の有無は各コース案内でご確認ください。

就職相談室登録資格

校正者をめざす本格コースで実務能力を身につけます

校正コース

校正技能検定〈中級〉〈上級〉対応講座／就職相談室登録資格

*標準期間：8カ月／無料延長4カ月可(学習期間を短縮することも可能)
*受講資格：高校卒業程度の学力を有する方

未経験者でも無理なく専門的スキルが習得できるように実習訓練を繰り返し、添削指導します。もっとも緻密さを要求される縦組・横組の書籍校正を基本として、校正業務全体について学習します。修了と同時に、校正技能検定委員会から校正技能検定〈初級〉が認定され、「校正技能検定」の〈中級〉試験の受験資格が得られます。

また、就職相談室に登録して本校に寄せられる出版界の求人情報を受け、就職活動ができます。

こんな方におすすめ
します

- 校正の仕事に就きたい
- 出版社への就職をめざし、準備として校正のスキルを身につけたい(学生)
- 自宅校正などフリーの校正者をめざしたい(主婦・転職希望者)
- 校正の基本をより正確に習得したい(編集者)
- 校正技術が仕事上欠かせない広報誌や社内報作成に携わっている

カリキュラム

No.1 校正記号の使い方／校正の順序と方法

校正とはどんな仕事なのか、校正の目的や作業手順を学ぶことから学習は始まります。実務の基本となる校正記号の使い方を学び、正しく校正刷を記入する練習を行います。また、1字1字の原稿引合せの実習を行います。



「学習の手引」で学習範囲・要点、実習の進め方などを確認し、「学習課題」を仕上げることで月々の学習ポイントをおさえていきます。

No.2 原稿整理と製作の知識／指定の見方と原稿引合せ

校正の仕事の前後に行われる編集・製作・組版・印刷など、校正業務に欠かせない知識を学びます。実習では印刷文字スケールの使い方を習得して、文字の大きさや組方の点検を行います。



学習課題では、文字の大きさと書体の確認、本のできるプロセスなど実務に欠かせない基本知識を学習します。

No.3 文字の計り方と組体裁の点検

縦組の本における校正の方法と誤植になりやすい例などの注意点を学びます。実習では組方指定の入った原稿を使用し、指定の見方を学び、一般書の原稿引合せを中心に1字1字の引き合わせ訓練を積み重ねていきます。



校正実習では、見開きページの簡単な校正記号の習得からスタートし、徐々に記号もページ数も増やして訓練を重ねます。

No.4 縦組の原稿引合せと赤字引合せ・素読み実習

No.3につづき縦組校正の学習をします。縦組の組方ルールとルビ(振り仮名)の組方を学び、書籍の組方の決まりを理解します。実習では再校(赤字引合せ・素読み)校正を行い、初校・再校・校了とつづく校正作業の手順と注意点を学びます。



校正の基本は、原稿と校正刷の1字1字の引き合わせ作業です。文字の大きさと書体、字詰と行数・行間などの確認も行います。

No.5 漢字と仮名遣いの知識／デジタル入稿の知識

漢字の新・旧字体や仮名遣い・送り仮名・数字と外来語の表記など、用字・用語について知識を深めます。実習では漢字と仮名遣いと関連して、旧字体・旧かなの練習問題を行い、デジタルデータ原稿の校正にも取り組みます。



提出された実習課題は、講師による正しい添削と講評が記されて返却されます。誤りは復習することで補います。

No.6 用字・用語の知識／縦組の総合実習

送り仮名や外来語・地名・数詞・ローマ字などの表記について、用字・用語の学習をつづけます。実習では縦組校正のまとめとしてページ数の多い教材に取り組み、さらに再校の練習や校了業務について学びます。



デジタルデータ入稿や、手書きの原稿、初校・再校といった作業の特徴に応じた仕事の仕方を確認します。

No.7 横組の校正記号と組方ルール／原稿引合せ

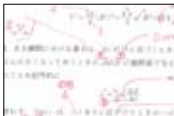
横組校正の学習を行います。横組には記号や欧字・数式など縦組と異なる要素が入ってきますから、これらの扱いに慣れるようにします。実習では横組校正記号の入朱方法を学び、数字や欧字の入った教材に取り組みます。



再校では赤字の入った初校の校正刷と再校の校正刷の赤字引合せを行い、そのあとで素読み校正を行います。

No.8 数式・化学式・単位記号と索引の原稿引合せ

理工学書の専門的な要素の入った横組の校正について学習します。実習では数式・化学式・単位記号などの入った教材に臨みます。校正のなかでも難しいもののひとつですが、校正の学習と訓練を積み重ねることで十分理解でき、対応できます。



No.7～8で横組の校正実習に取り組みます。化学式などの難易度の高い実習に挑みます。

校正コース学費

合計	内訳	入学金	受講料	テキスト・編集用具
48,000円	内訳	3,000	45,000	新編校正技術①～④ 標準校正必修 第8版 校正練習帳①② 印刷文字スケールセット※1

※1 アメリカンポイント・DTPポイント・綴数の3枚／各525円
*表示金額は税込です。
*常設講座の受講歴のある方は入学金は不要です。
*受講料に教材・テキスト・編集用具代が含まれます。

自身のペースにあわせて校正の基本が学べます

校正フレックスコース

校正技能検定〈中級〉対応講座／就職相談室登録資格

*標準期間：6カ月／無料延長3カ月可(学習期間を短縮することも可能)
*受講資格：高校卒業程度の学力を有する方

条件に応じて学習の進行度合と密度を調整できるので、初心者でも無理なく校正技術が習得できます。修了と同時に、校正技能検定委員会から校正技能検定〈初級〉が認定され、「校正技能検定」の〈中級〉試験の受験資格が得られます。

また、就職相談室に登録して本校に寄せられる出版界の求人情報を受け、就職活動ができます。

こんな方におすすめ
します

- 仕事の上で校正スキルを欠かすことのできない雑誌編集者
- 自分で校正をする広報誌・PR誌・社内報の担当者
- フリーの校正者をめざし、まず校正の基本を学んでみたい(主婦・社会人)
- 出版社への就職をめざし、準備として校正のスキルを身につけたい(学生)
- 他コースの学習に加え、校正技術も身につけておきたい(受講生・修了生)

カリキュラム

No.1 校正記号の使い方／校正の順序と方法

校正とはどんな仕事なのか、校正の目的や作業手順を学ぶことから学習は始まります。実務の基本となる校正記号の使い方を学び、正しく校正刷を記入する練習を行います。また、1字1字の原稿引合せの実習を行います。



「学習の手引」で学習範囲・要点、実習の進め方などを確認し、「学習課題」を仕上げることで月々の学習ポイントをおさえていきます。

No.2 原稿整理と製作の知識／指定の見方と原稿引合せ

校正の仕事の前後に行われる編集・製作・組版・印刷など、校正業務に欠かせない知識を学びます。実習では印刷文字スケールの使い方を習得して、文字の大きさや組方の点検を行います。



学習課題では、文字の大きさと書体の確認、本のできるプロセスなど実務に欠かせない基本知識を学習します。

No.3 文字の計り方と組体裁の点検

縦組の本における校正の方法と誤植になりやすい例などの注意点を学びます。実習では組方指定の入った原稿を使用し、指定の見方を学び、一般書の原稿引合せを中心に1字1字の引き合わせ訓練を積み重ねていきます。



校正実習では、見開きページの簡単な校正記号の習得からスタートし、徐々に記号もページ数も増やして訓練を重ねます。

No.4 縦組の原稿引合せと赤字引合せ・素読み実習

No.3につづき縦組校正の学習をします。縦組の組方ルールとルビ(振り仮名)の組方を学び、書籍の組方の決まりを理解します。実習では再校(赤字引合せ・素読み)校正を行い、初校・再校・校了とつづく校正作業の手順と注意点を学びます。



校正の基本は、原稿と校正刷の1字1字の引き合わせ作業です。文字の大きさと書体、字詰と行数・行間などの確認も行います。

No.5 漢字と仮名遣いの知識／デジタル入稿の知識

漢字の新・旧字体や仮名遣い・送り仮名・数字と外来語の表記など、用字・用語について知識を深めます。実習では漢字と仮名遣いと関連して、旧字体・旧かなの練習問題を行い、デジタルデータ原稿の校正にも取り組みます。



提出された実習課題は、講師による正しい添削と講評が記されて返却されます。誤りは復習することで補います。

No.6 横組の校正記号と組方ルール／原稿引合せ

横組校正の学習を行います。横組には記号や欧字・数式など縦組と異なる要素が入ってきますから、これらの扱いに慣れるようにします。実習では横組校正記号の入朱方法を学び、数字や欧字の入った教材に取り組みます。



再校では赤字の入った初校の校正刷と再校の校正刷の赤字引合せを行い、そのあとで素読み校正を行います。

*専門校正者をめざす方には密度の高い校正コースをおすすめします。

校正コースと校正フレックスコースの違い

校正コースは、校正の仕事のさまざまなケースに対応できるように、幅広い学習範囲と数多くの課題によって構成されています。とくに校正コースNo.6とNo.8は校正フレックスコースにはない専門的な学習内容です。専門校正者をめざす方、校正技能検定の〈中級〉、さらに〈上級〉試験合格をめざす方には密度の高い校正コースをおすすめします。

校正フレックスコース学費

合計	内訳	入学金	受講料	テキスト・編集用具
36,000円	内訳	3,000	33,000	新編校正技術①～④ 標準校正必修 第8版 校正練習帳①② 印刷文字スケールセット※1

※1 アメリカンポイント・DTPポイント・綴数の3枚／各525円
*表示金額は税込です。
*常設講座の受講歴のある方は入学金は不要です。
*受講料に教材・テキスト・編集用具代が含まれます。

編集・誌面設計・校正など本づくりの技能がすべて学べます

編集コース

校正技能検定〈中級〉対応講座／就職相談室登録資格

*標準期間：6カ月／無料延長4カ月可(学習期間を短縮することも可能)
*受講資格：高校卒業程度の学力を有する方

編集コースは新カリキュラム準備のため受付を休止しております。
受付再開までしばらくお待ちください。

雑誌編集に必要な技術が習得できます

雑誌編集入門コース

就職相談室登録資格

*標準期間：6カ月／無料延長4カ月可(学習期間を短縮することも可能)
*受講資格：高校卒業程度の学力を有する方

企画を立てる・取材して原稿を書く・レイアウトや校正をする——1冊の雑誌をつくるプロセスを体験します。実習をとおして、雑誌をつくる編集者のたのしさと充実感を味わえます。雑誌編集者として必要とされる知識と技能を簡潔明瞭に解説したテキストと教材で、初心者でも無理なく学習することができます。

修了後は、就職相談室に登録して本校に寄せられる出版界の求人情報を受け、就職活動ができます。

- こんな方におすすめします
- 雑誌編集者をめざしている
 - 出版社へ転職を希望している
 - エディタースクールの求人を利用して出版社への就職を考えている
 - ライター志望で、雑誌編集から仕事を始め実績を積みたい
 - 編集全般を短期に学びたい(出版社の新人編集者・広報誌担当者)
 - 個人で雑誌を発行するので、編集の基本的な技法を知りたい

カリキュラム

No.1

雑誌を調べる／テーマの発見と企画づくり

読者を引きつける最大のポイントは企画です。市販雑誌を読者ではなく作り手の立場で分析し、企画の立て方と内容構成の組み立て方を学びます。こうして、雑誌編集のプロセスを理解し、編集者の仕事の全体像を習得します。



学習は毎月「学習進行ノート」を読むことから始まり、学習のポイントと実習の手順を確認します。

No.2

取材文の書き方と原稿作成／座談会の準備と進行

取材企画は雑誌づくりの要です。取材企画の立案と依頼方法、取材現場での具体的な取材術と原稿の書き方を重点的に学びます。さらに紙面に変化と活気をもたらす座談会の進め方と、原稿作成などについて習得します。



市販雑誌を分析します。どんな内容の企画があるか、どんなライターがいるか、1冊まるごと調べていきます。

No.3

原稿の執筆依頼の方法／レイアウトの基礎

原稿依頼の方法と原稿を受領したあとの原稿整理の方法、写真やイラスト原稿の依頼や扱い方、そして雑誌のレイアウトの中心をなす、文字を組むために必要な印刷文字の知識とその指定技術を学びます。



実習では、インタビュー原稿のリライト(書き直し)を行い、取材の実習では写真の選択方法についても学習します。

No.4

原稿整理の実習と見出しのつけ方

記事内容を読者にアピールするための見出し(タイトル)やリードなどのさまざまな表現方法を学習し、さらに、雑誌紙面をデザインする基本となる枠組み(フォーマット)について理解を深め、読者をひきつける技術を学びます。



編集者に必要な原稿執筆依頼書の作成や、原稿整理では、原稿の表記の整理・内容の完成度を高める実習を行います。

No.5

ビジュアル演出とレイアウトの作成実習

総合的な誌面づくりを行う編集の最終段階です。文章・写真・イラストなどの原稿をどのようにレイアウトするか、基本にそって学習を進めます。写真と図版の指定方法も習得し、実際のレイアウトの作業手順に従って実習を行います。



雑誌の誌面の大切な要素である、見出し・リード・写真のキャプション(文章)をつくり、さらにデザインの習得も行います。

No.6

校正実習(初校から校了まで)／雑誌完成後の実務

編集の最終段階のチェック作業となる校正技術の基本を習得し、校正実習(初校・再校)を行います。さらに印刷・製本・紙などの知識を学び、雑誌の製作に掛かる費用とその明細を知って、雑誌編集の仕事の全体像についても理解を深めます。



校正実習では、文字原稿とともに、レイアウト用紙の指定どおりに組まれているかも、校正刷と照合して確認します。

雑誌編集入門コース学費

合計	内	入学金	受講料	テキスト・編集用具
37,000円	取	3,000	34,000	広報・雑誌づくりのらくらく編集術 標準編集必修第2版 印刷文字スケールセット※1

※1 アメリカンポイント・DTPポイント・綴数の3枚/各525円
*表示金額は税込です。
*常設講座の受講歴のある方は入学金は不要です。
*受講料に教材・テキスト・編集用具が含まれます。
*すでにお持ちの場合はお問合せください。

読者にしっかり伝わる文章作成法を訓練します

雑誌記事入門コース

本コースの修了だけでは就職相談室の登録資格は得られません。「雑誌編集入門コース」などで編集の技能を修得すれば、就職相談室への登録ができ、編集者の求人募集に対応することができます。

- *標準期間：4カ月／無料延長2カ月可(学習期間を短縮することも可能)
- *受講資格：高校卒業程度の学力を有する方

雑誌や広報誌に掲載される紹介記事、ニュース記事、取材記事、インタビュー記事など文章作成の基本と、日本語表現の基礎となる表記のスタイルを学んで、読者にしっかり伝わる文章力を身につけます。テーマにそくした情報の集め方や取材のポイント、実践的な記事の書き方を学習し、読者をひきつける見出しのつけ方や、決められた字数でまとめる文章の作成法をマスターします。実際に記事を書く実習を行い、添削指導により記事執筆の能力を高めていきます。

こんな方におすすめします

- 文章の基本を知りたい(新人の雑誌編集者・広報誌編集者)
- ライター志望でマスコミで通用する文章を書きたい
- 仕事で文章を書く機会が多い
- マスコミ受験に向けて文章力をつけたい(大学・短大生)
- Webや個人誌に「読まれる」文章を載せたい
- 書くことが好き
- 雑誌や本を読むことが好き

カリキュラム

No.1

テキストの内容

- 第1章 文章に効く格言
- 第2章 原稿執筆の大前提
- 第3章 原稿執筆の出发点
- 第4章 文章構成のスタイルと展開
- 第9章 文章表記のルールづくり1

文章スタイルの学習

主観的な記事と客観的な記事の書き方の特徴

表記と表現の学習

- 1 自分の文章表記のルールづくり
- 2 縦書きと横書きの選択
- 3 表記のスタイルの基本ルール

記事作成の実習

- 実習1:「お知らせ」
- 実習2: 紹介記事、コラム

No.2

テキストの内容

- 第5章 ニュース記事の執筆
- 第9章 文章表記のルールづくり2

文章スタイルの学習

ニュース記事の重点の置き方を、出来事(事件)とトピックス(話題性)で見比べる

表記と表現の学習

- 1 文体を統一する
- 2 表記を統一する
- 3 漢字とかなの使い分け

記事作成の実習

- 実習3: ニュース記事(出来事)
- 実習4: ニュース記事(トピックス)

No.3

テキストの内容

- 第6章 読まれる文章の作成法
- 第7章 情報を集めて書く
- 第9章 文章表記のルールづくり3

文章スタイルの学習

読まれる工夫を、説明型の文章と展開のある文章で比較する

表記と表現の学習

- 1 語順と呼応の効果を知る
- 2 あいまいな表現を避ける
- 3 記号の使い方

記事作成の実習

- 実習5: 実用記事
- 実習6: 取材記事

No.4

テキストの内容

- 第8章 インタビューして記事を書く
- 第10章 原稿を完成させる
- 第9章 文章表記のルールづくり4

文章スタイルの学習

インタビュー記事の3つのスタイルの違いを見る

表記と表現の学習

- 1 正誤の作業のポイント
- 2 簡潔な表現にする

記事作成の実習

- 実習7: インタビュー記事(会話でまとめるスタイル)
- 実習8: インタビュー記事・リード(文章に発言を入れるスタイル)

雑誌記事入門コース学費			
合計	内	入学金	受講料
21,000円	内	3,000	18,000
	別		広報・雑誌づくりのらくらく文章術 パソコンで書く原稿の基礎知識

*表示金額は税込です。
*常設講座の受講歴のある方は入学金は不要です。
*受講料に教材・テキスト代が含まれます。
*受講料に教材・テキスト・辞典代が含まれます。
*すでにお持ちの場合はお問合せください。

さまざまな文章の書き方がマスターできます

文章コース

就職相談室登録資格

- *標準期間：6カ月／無料延長4カ月可(学習期間を短縮することも可能)
- *受講資格：高校卒業程度の学力を有する方

用字・用語の知識、テーマ・材料・構成の留意点など、文章の基礎がしっかり身につきます。随想文・紀行文・人物論・ルポルタージュなど、さまざまな文章の書き方の要領を学び、文章の幅を広げ、ひとに伝わるわかりやすい文章を書くことができます。提出された課題は、表現の工夫から表記上の細かい注意まで懇切丁寧に添削を行います。修了後は、就職相談室に登録して本校に寄せられる出版界の求人情報を受け、就職活動ができます。

こんな方におすすめします

- 文章がうまくなりたい
- 雑誌編集者やフリーライターをめざしている
- マスコミへの就職を希望し、入社試験や就職してからの実務で文章力を生かしたい
- 文章を書く機会が多く、上達したい(学生・会社員・教師)
- 編集を学んだり、仕事としながら、文章の書き方の基本を知りたい

カリキュラム

No.1

文章を書く条件と手順／文章表現の基礎

文章の基本となる原稿用紙の使い方、常用漢字、現代仮名遣い、同音異義語の使い分け、数字の表記法、句読点等の正確な用方を学びます。さらに実例を参照して、悪文防止の必修ポイントをも身につけていきます。



月ごとに「学習の手引」と「練習課題」を合わせた冊子があります。手引とテキストを読んでから練習課題に取り組みます。

No.2

テーマの選び方／材料の集め方と使い方／執筆の要領

文章を書く際に必要な執筆の要領を学習します。まずテーマ(主題)の選び方を学び、それをどう具体的に展開していくかを考えます。つぎに材料の集め方と使い方を覚え、構成表現法を習得し、悪文の防止に役立つように工夫をしています。



練習課題では、正しい日本語の理解とさまざまな表現法を習得し、悪文の防止に役立つように工夫をしています。

No.3

随想文(随筆)と紀行文／悪文を防ぐポイント

さまざまな文章の書き方を学びます。No.3では、一定の形式がなく、かえって難しいとされる随想文と、旅先での印象を情景の描写も入れてまとめる紀行文を、文章表現力に焦点をあてて学びます。



実習課題は丁寧に添削されて返却されます。原稿用紙の表紙には、講師から適切なアドバイスが記されます。

No.4

手紙文と報告文／形式と敬語の使い方

手紙文と報告文の書き方を学習します。手紙文では定まった形式・敬語の使い方を学び、いろいろな目的に応じた手紙文の書き方のポイントをおさえます。



No.5

人物の描き方とルポルタージュ／取材の方法

No.5では、特に取材が重要になります。人物論では取材方法として、資料での調べ方、インタビューのコツ、メモのとり方についても要点をおさえていきます。



添削原稿を清書して再提出し、厳密な最終の添削を受けます。この反復で文章が明快になり上達実感できるようになります。

No.6

感想文・批評文と論説文／文章の論説文

感想文・批評文では客観的に対象を描きだして説得性のある意見を展開する文章を、論説文では特に論理的な文章を書く力を身につけます。



文章コース学費			
合計	内	入学金	受講料
25,000円	内	3,000	22,000
	別		実例文章教室(新訂版)例解辞典

*表示金額は税込です。
*常設講座の受講歴のある方は入学金は不要です。
*受講料に教材・テキスト・辞典代が含まれます。
*すでにお持ちの場合はお問合せください。

受講生からのメッセージ

校正コース

やる気をおこさせる添削講師のコメント

毎日1時間は机に向かう、そんな思いで勉強していました。通信教育は仲間がいない孤独がありますが、提出した質問への温かいご返事や添削のコメントは、やる気を持続させてくれました。

修了後に四級の検定試験に合格しました。図書館のパートの仕事が切れるころ、隣の印刷会社の校正をスクールから紹介され、現在、地方史の書籍やガイドブックなどを在宅で行っています。

Sさん(32歳)フリー校正者・岩手県

校正フレックスコース

学んだことの自信が就職決定に

校正は何歳になっても家でできる仕事、と思って受講しました。学習は講師の添削にささえられて着実に技術が身についたと感じました。夏のスクーリングに参加したのもいい刺激でした。

修了後は編集コースも受講し、校正技能検定と書籍製作技能検定の四級に合格しました。就職相談室の求人情報を受けて出版社に入社し、頑張っています。将来は在宅で仕事をしたいと思います。

Sさん(33歳)編集者・東京都

校正フレックスコース

スクールの教育を評価する採用者

就職相談室の紹介で、いま2社ほどの校正を在宅でしています。ジャンルは学参・法律・介護など、さまざまです。仕事に就けたのは、採用者がスクールを信頼していたからです。

一般企業在职時は顧客むけの総合情報誌の編集・校正に携わっていましたが、スクールの学習は本格的で大変でした。毎月の努力が実り、6カ月で修了し、直後に校正技能検定の四級に合格することができました。

Nさん(39歳)フリー校正者・東京都

編集コース

プロの編集者をめざして

編集プロダクションに勤めていましたが、社内でDTPをやるようになったので、レベルをあげるためにも組方ルールや編集の知識の基本を学びたくて受講しました。その後、スクールの紹介で地元の総合出版社に入社し、現在は「江戸東京散歩」というシリーズの編集を担当しています。

出版の基本を知り、企画や編集の実務、校正などを学んだことが今の仕事にとっても役立っています。

Yさん(29歳)編集者・東京都

雑誌編集入門コース

ていねいな添削とアドバイスが力に

出版社志望ならと、大学の先生に受講をすすめられました。テキストは電車の中で読んだりして大学の授業との両立に努め、実習は休日を利用して集中的に行いました。学習の中では、雑誌ができるプロセスがよくわかり、原稿を形に仕上げていくレイアウトの実習がとても楽しかったです。

最初は不安でしたが、ていねいな添削やアドバイスは大きな励みになり、無事修了ができました。

Oさん(20歳)大学3年生・群馬県

文章コース

目標の会社に就職が決まる

大学の3年生になったとき、就職対策のため受講を始めました。書くのが苦手な、これを克服しないと就職できないという思いでした。

学習は基礎から体系的に学べるし、テキストが読みやすくてよかったです。添削の清書を繰り返すと、徐々に上達していく実感をもてました。誤字・脱字もなくなりました。

おかげで目標の会社に就職が決まり、いまは卒論に追われているところです。

Aさん(21歳)大学4年生・東京都

校正技能検定

校正検定には〈上級〉〈中級〉〈初級〉の三段階があります。〈初級〉は規定のコース修了により、〈中級〉と〈上級〉は、それぞれ縦組・横組の実技試験と、校正・編集・製作に関する知識や漢字・表記について問う学科試験により認定されます。

〈中級〉の検定は「指示された方針に従って、比較的単純な組版についての初校原稿引合せと通読作業を遂行する能力」を審査します。基本的な校正の技能が身につけていることを確認する試験です。年2回7月と12月に、東京と関西各1会場で実施されます。

その上の段階の〈上級〉は、〈中級〉合格者のみに受験資格があります。「指示された方針に従って、比較的複雑な組版についての初校原稿引合せ及び再校赤字引合せ・素読みの作業を遂行する能力を審査する」試験で、年1回3月に東京で実施されます。合格すれば、適切な判断力のある校正者として自信をもって就職活動ができます。

※校正検定の段階を示す呼称は、2011年4月より〈三級〉を〈上級〉、〈四級〉を〈中級〉、〈五級〉を〈初級〉と変更いたしました。(第130回までを旧呼称で実施)

校正技能検定〈中級〉試験

■実技試験 出題範囲

縦組 初校原稿引合せ

縦組 データ入稿の初校引合せと通読作業

横組 初校原稿引合せ

■学科試験 出題範囲

1. 校正作業に必要な知識

編集・製作に関する基本知識、校正作業に関する知識

2. 用字用語に関する知識

漢字、仮名づかいに関する知識

校正技能検定は日本エディタースクールが主催するものです。専門委員からなる技能検定委員会がおかれ、この委員会が各検定試験の受験資格審査、当該年度の試験科目の選定、試験問題の作成ならびに採点基準の決定、試験結果を審査し、可否を決定します。

第22期 校正技能検定委員

五十嵐美那子 生活思想社代表、編集・校正者
居郷英司 居郷デザイン工房代表、編集者・デザイナー
井上 巴 フリー校正者
丑山佐千男 元光文社編集管理局校閲部
小松 勉 フリー校正者
境田稔信 フリー校正者
高浜慎一郎 筑摩書房編集局校閲室部長
高虫佳伸 フリー校正者
寺島敏郎 元岩波書店取締役校正部長
外池孝男 日本エディタースクール出版部、校正記号検討委員会委員
中村 幹 印刷学会出版部代表
野村保恵 あるふぁ企画代表、校正記号検討委員会委員長
宮崎 英 フリー校正者
矢彦孝彦 元新潮社校閲部部長、校正記号検討委員会委員

校正技能検定〈上級〉試験

■実技試験 出題範囲

縦組 初校原稿引合せ

横組 初校原稿引合せ

縦組 赤字引合せ・素読み

■学科試験 出題範囲

1. 校正作業に必要な知識

編集・製作に関する基本知識、校正作業に関する知識

2. 用字用語に関する知識

漢字、仮名づかい、欧字・記号に関する知識

就職と求人状況 — 「就職相談室」が強力にサポート

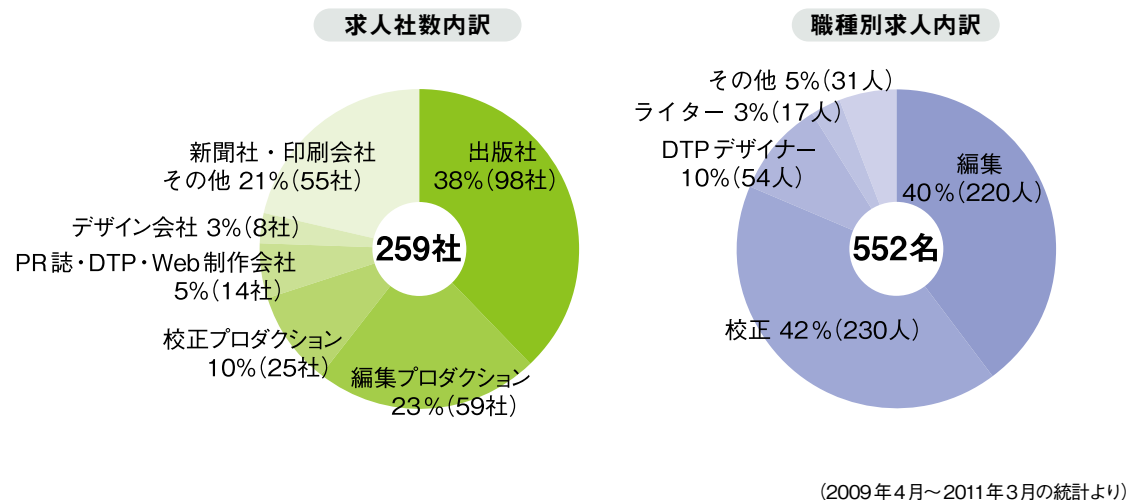
「就職相談室」では就職相談や求人社の紹介など、修了生の方の就職活動をサポートしています。毎年多くの求人が寄せられています。

1 実務をこなせる編集技能を評価

出版社や関連会社の多くは、すぐに実務をこなせる一定の編集技能を持った人を求めています。本校の修了生はこの点が評価され、就職相談室に年間多数の求人が寄せられています。これらの求人のなかには、一般公募はせず、本校のみに出されるものも多く、新聞などでの公募を待つよりはるかに多くのチャンスがあるといえます。また、一般公募では経験者募集が多く、未経験者は不利な立場におかれませんが、これらの求人は、スクールで確かな技能を身につけたという経歴が評価されることになり、そうした不利がありません。

2 求人社の内訳と職種の内訳

求人社の業種には、出版社や編集・校正プロダクション、PR誌・DTP・Web制作会社、デザイン会社、新聞社など出版関連業種のほかに一般企業などもあり、多方面から求人が寄せられます。そのうち出版社や編集プロダクションが6割を占めています。職種は編集者が40%、校正者が42%、DTPデザイナーが10%などとなっています。求人社が提示する条件には、学歴や年齢などを不問とするところが多く、何よりも技能を重視していることがわかります。



3 主な求人会社

- 出版全般・Web制作
 - 鐵五郎企画
 - トゥインクル
 - 七賢出版
 - UNBIND
 - セマーナ
- 書籍編集者・製作者
 - アーツ アンド クラフツ
 - あるむ
 - インターネット
 - カラーズ
 - ケイズプロダクション
 - ゲンダイメディアカル
 - 国際語学社
 - 造事務所
 - 蒼蒼社
 - 草土出版
 - DHパブリッシング
 - 永末書店
 - 21世紀BOX
 - 日本電気協会新聞部
 - バンティアン
 - 美研インターナショナル
- 雑誌編集者
 - アプレ・コミュニケーションズ
 - ウイズマン
 - エイド出版
 - エディターズ・キャンプ
 - エンタミックス
 - オフィスエルク
 - キューブリック
 - ケイオフィス
 - 月刊日本橋
 - 健学社
 - 公文堂
 - ゴーゴル
 - コーポレイトデザイン研究所
 - 情報技研
 - スリージャグス
 - 全国学校図書館協議会
 - 立花書房
- 編集補助
 - アーヴル
 - 朝日出版社
 - アリス館
 - 一石堂
 - イメージング・ワークス
 - エーディーサマーズ
 - エキスパートスタッフ
 - 宙出版
 - 学習研究社
 - 神奈川新聞社
 - ガンザオーリ
 - グスコー出版
 - 鶏卵肉情報センター
 - 産業用水調査会
 - ジーハウス
 - 出版文化社
 - 主婦と生活社
 - スクウェア・エニックス
 - スタジオダנק
 - スリーシーズン
 - 青弓社
 - 成山堂書店
 - 二玄社
 - 日刊電気通信社
 - 日本医療企画
 - バド・インターナショナル
 - 早川書房
 - ハローケイエンターテインメント
- 校正者
 - iD8 HAWAII LLC
 - 朝日新聞総合サービス
 - アド
 - あとらす二十一
 - イズ・アソシエイツ
 - ヴェリタ
 - エステユーエス
 - オフィス東和
 - オメガコム
 - Culture Publication
 - くすのき舎
 - クリーク・アンド・リバー社
 - ザッツ
 - 集英社
 - 新風社
 - 地域新聞社
 - 中央公論新社
 - データリンクス
 - 日新印刷
 - バイステップ
 - ブランディット
 - 平凡社
 - ペーパーハウス
 - マッドハウス
 - 大和企画印刷
 - 歴史の森
 - ローソンチケット
 - ワードシステム
 - ワイズファクトリー
- DTPオペレーター
 - カイショー
 - 共和クリエイト
 - サイエンス&テクノロジー
 - 産業編集センター
 - 秀英堂紙工印刷
 - DTP出版
 - ビーコム
 - 勉誠出版
- ライター
 - 医療情報研究所
 - キャラクター・データバンク
 - キャレット
 - 金羊社
 - 産業編集センター
 - タッドファクトリー
 - デイリー・インフォメーション
 - 陶業時報社
 - マガジントップ
 - モーク・ワン
- その他
 - アール・ピー・アイ
 - 志泉書院
 - 大和書房
 - マッドハウス
- デザイナー
 - 岡村デザイン事務所
 - 産業編集センター
 - チームエー

*公開可能な求人社様のみ掲載しています。

通信講座申込方法

学費については各コースの案内ページをご覧ください

お申込みは下記のいずれかの方法でお願いいたします。正式な申込受付は、原則として学費納入時といたします。ご入金の確認後、教材一式をお送り(またはお渡し)いたしますので、学習を開始してください。

来校によるお申込み

日本エディタースクール3階にて、お申込手続きを行っています。入学申込書と学費(申込時納入額)をお持ちください。

学費納入

銀行振込・郵便振替または当校受付にお持ちください。

[銀行振込]

- ・三井住友銀行飯田橋支店 普通 2893121
- ・横浜銀行東京支店 普通 1267595
- ・ゆうちょ銀行〇一九店(ゼロイチキュー店) 当座 0008265

[郵便振替]

口座番号 = 00140-7-8265
加入者名 = 日本エディタースクール

宛先

日本エディタースクール 電話03-3263-5891
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-4-6

受付事務

平日10:30~20:00(土曜~15:00, 日曜・祝日は業務を休みます)

ウェブサイトからのお申込み

http://www.editor.co.jp/ にアクセスし、「通信講座」ページの申込フォームからお申込みください。担当者からの確認のメール内容にそって学費(申込時納入額)のご入金をお願いいたします。

郵送によるお申込み

入学申込書を本校宛にお送りいただき、学費(申込時納入額)のご入金をお願いいたします。

注意事項

- 提出書類を郵送の場合、学費の納入はなるべく同日にお願いいたします。ご入金の控えは、教材類がお手元に届くまで保管してください。
- 請求書が必要な場合はお手数ですが、その旨ご連絡ください。折り返しお送りいたします。
- 分納を希望される方は、電話で「分納願」をご請求ください。必要事項をご記入のうえ、提出書類に同封してお送りください。

体験 校正1日教室のご案内

校正とはどんな仕事かが体験できます。校正の手順を理解し、正確な校正記号を使って1字1字点検する実習を行います。具体的なイメージをもって学習を始めた方におすすめています。【通学版】は月1回開催、当日はご希望の方にスクールの講座内容や就職状況についての説明もいたします。【通信版】は随時お申込みいただけます。本セミナーを受講された方が、全日制総合科や常設校正講座にお申込みの場合、学費が割引になります。詳細は別紙案内またはウェブサイトをご覧ください。

学校説明会と入学相談のご案内

学校説明会は、月1回実施しています。当日は、出版界の概要と出版の仕事、本校の求人状況、カリキュラムなどについて詳しくご説明いたします。テキスト・教材・実習作品の展示もご覧いただけます。実施日と詳細・参加申込は、本校のウェブサイトでご確認ください。案内書を請求された方には、説明会のお知らせを同封しております。入学相談・学校訪問は月曜から金曜までお受けしています。事前に希望日時を電話・ファクス・メールでご連絡ください。

①お申込みの講座に○印をつけてください

※そのほかのコースをご希望の方は空欄にコース名をご記入ください。

夜間講座(番号を○で囲む)		受講期を○で囲む	土曜講座(番号を○で囲む)		受講月を記入
1	編集コース	春・秋・冬	1	校正教室<基礎>	月生
2	校正コース	春・秋・冬	2	校正教室<実習>	月生
3	総合コース	春・秋・冬	3	校正教室<演習>	月生
4	選択研修コース(4a~4eを選択)		4	編集教室	月生
4a	a企画と編集	春・秋・冬	通信講座(番号を○で囲む)		*記入は不要
4b	b本と雑誌の設計	春・秋・冬	1	編集コース	月生
4c	c校正基礎実習	春・秋・冬	2	校正コース	月生
4d	dタテ組校正実習	春・秋・冬	3	校正フレックスコース	月生
4e	eヨコ組校正実習	春・秋・冬	4	雑誌編集入門コース	月生
5	校正検定訓練<中級>	春・秋・冬	5	文章コース	月生
6	校正検定訓練<上級>	春・秋・冬	6	雑誌記事入門コース	月生
InDesign(夜または土を○で囲む)		受講月を記入	受講する教室をすべて○で囲む		
夜・土	InDesign:本づくりコース	月生	基礎知識・Mac基本・DTP基本・【1】・【2】		

写真貼付

3×4 cm

写真の裏面に氏名を記入してください

②初めて受講される方は写真をお貼りください

年 月 日 受取

年 月 日 受付

③必要事項をご記入ください

※受講歴のある方の住所・勤務先の項目は、以前ご提出の書類より変更がありましたらご記入ください。

ふりがな	西暦 年 月 日生			
氏名	年齢	歳	性別	男・女
住所(連絡先)	〒 - 都道府県			
電話番号 ()	- 緊急時連絡 可・不可			
携帯番号 ()	- 緊急時連絡 可・不可			
メールアドレス(携帯)	/PC ()			
勤務先	名称	部署		
	〒 - 都道府県			
	電話番号 () - 緊急時連絡 可・不可			
職種・業種	<input type="checkbox"/> 出版社 <input type="checkbox"/> 編集プロダクション <input type="checkbox"/> 新聞社 <input type="checkbox"/> PR誌・DTP・Web制作 <input type="checkbox"/> デザイン事務所 <input type="checkbox"/> 印刷・製本 <input type="checkbox"/> その他企業 <input type="checkbox"/> 公務員・団体 <input type="checkbox"/> フリー <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> その他 ()			

⑤今回お申込みの講座についてお聞かせください

体験校正1日教室受講歴	無・有(年 月頃)	お申込みの講座をお知りになった媒体 <input type="checkbox"/> ケイコとマナブ *複数回答可 <input type="checkbox"/> 通信講座大事典 <input type="checkbox"/> マスコミ就職読本 <input type="checkbox"/> スクール出版物 <input type="checkbox"/> スクールのサイト <input type="checkbox"/> ほかのサイト () <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> 受講歴のある知人 <input type="checkbox"/> 案内書・DM・チラシ <input type="checkbox"/> 会社派遣 <input type="checkbox"/> 資格の本・ガイドブック (書名:) <input type="checkbox"/> その他 ()
常設講座受講歴	無・有(昼・夜・土・通: 年 月頃)	
受講料負担	自己負担・会社負担 その他()	
お支払い方法	持参・銀行振込・郵便振替 (月 日 支払済・予定) 全納・分納(回) *具体的にご記入ください	
受講目的	備考	

④初めて受講される方はご記入ください

経験年数	
雑誌編集	年
書籍編集	年
製作	年
校正	年
DTP	年
レイアウト・デザイン	年
広報PR誌	年
パソコン(OS Win・Mac)	年
インターネット・メール	年
Word・Excel	年
InDesign・QuarkXPress	年
Illustrator・Photoshop	年
その他のソフト	年

初めて本校をお知りになった媒体

ケイコとマナブ *複数回答可
 通信講座大事典
 マスコミ就職読本
 スクール出版物 (書名:)
 インターネットで
 ヤフーなどの検索で知った
 検索語()
 ほかのサイトからのリンク ()
 知人
 受講歴のある知人
 会社派遣
 資格の本・ガイドブック (書名:)
 その他 ()

最終学歴

西暦 年 月
校名
卒業見込・ 年在学・卒業・中退

学校説明会

参加した(年 月頃)

ふりがな		改姓
氏名		

*この面のご記入は不要です

住所変更	〒	都道府県	
	電話番号 ()	-	緊急時連絡 可・不可
	携帯番号 ()	-	緊急時連絡 可・不可
	メールアドレス(携帯	/PC)

夜間講座	
1	編集コース
2	校正コース
3	総合コース
4	選択研修コース
4a	a企画と編集
4b	b本と雑誌の設計
4c	c校正基礎実習
4d	dタテ組校正実習
4e	eヨコ組校正実習
5	校正検定訓練(中級)
6	校正検定訓練(上級)

通信講座	
1	編集コース
2	校正コース
3	校正フレックスコース
4	雑誌編集入門コース
5	文章コース
6	雑誌記事入門コース

土曜講座	
1	校正教室(基礎)
2	校正教室(実習)
3	校正教室(演習)
4	編集教室

InDesign	
夜・土	InDesign:本づくりコース 基礎知識・Mac基本・DTP基本・【1】・【2】

夜間講座	講座番号		備考			
	受付番号					
	受付日					
	入学金	免・差	円			
	受講料	全・分・済	円			
	テキスト代		円			
	合計	円				
通信講座	講座番号		備考			
	受付日					
	入学金	免	円			
	受講料	全・分・済	円			
	合計		円			
土曜講座	講座	校正基礎	校正実習	校正演習	編集教室	備考
	受付番号					
	受付日					
	入学金	免・差				円
	受講料	全・分・済				円
	テキスト代					円
	合計				円	
InDesign	講座	InDesign	夜間・土曜	月生		備考
	申込教室	基礎知識・Mac基本・DTP基本・【1】・【2】				
	受付番号					
	受付日					
	入学金	免・差				円
	受講料	全・分・済				円
	テキスト代					円
	合計				円	